

<はじめに>

アニ×パラを効果的に学習に位置付けると…

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとしてパラスポーツ教育を進める際、児童・生徒の興味・関心を高めるための導入に有効です。
- パラスポーツ体験の前に視聴することで、パラスポーツの魅力や基本のルール等について知ることができ、体験当日の理解や振り返りの質を高めることができます。

<学習の展開例>

① パラスポーツ体験前に視聴

1 (本時)	2・3
アニ×パラ視聴	パラスポーツ体験／振り返り
<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツに興味をもつ。 ・パラスポーツのルールの概要や、障害があっても楽しむことができるための工夫を知る。 ・次時にパラスポーツ体験を行うことを知り、選手等への質問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツを体験し、競技の魅力に触れるとともに、障害への理解を深める。 ・選手等からの説明を受け、事前に考えていた質問などについて質疑応答を行う。 ・体験等の振り返りを行う。

※ 福祉に関する学習と関連させて取り組むと、より障害への理解が深まります。

■ 本時の流れ

	学習活動 ▶ 予想される児童・生徒の反応	□ 指導上の留意点
導入	<p>アニ×パラを視聴し、競技への関心を高めるとともに、ルールの工夫などについて疑問をもつ。</p> <p>▶ パラスポーツって楽しそうだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ アニ×パラワークシート 01 〈パラスポーツ体験前〉を使用する。 □ アニメを見て気付いたことを発表しあうことを伝える。
展開	<p>競技体験を行うことを聞き、アニ×パラ HP や競技団体 HP 等でルールの工夫などについて調べる。</p> <p>▶ もとになったスポーツとルールが違うな。</p> <p>▶ 障害の程度により複数のクラスがあるな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ アニ×パラ HP 「知りたい〇〇」などのページの場所を一緒に確認する。 □ 競技により、もともになるスポーツがあること、ルールなどの違いに着目することを伝える。
まとめ	<p>体験時に、競技の事や障害のことについて選手等に質問したいことなどを考える。</p> <p>▶ 大会に向けてどのような努力をしているのだろう。</p> <p>▶ 私たちにできることはあるだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 質問が具体的になるよう、体験会当日に来校するのがどのような方なのか（選手なのかスタッフなのか）事前に伝える。 ※ 質問内容は事前に先方に伝えておく。

② パラスポーツ体験後に視聴

1・2	3 (本時)	4～
<p>パラスポーツ体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツに出会い、興味をもつ。 ・パラスポーツの魅力や、障害があっても目標に向かって努力していることなど、選手等から聴く。 <p>※選手等から「パラスポーツについて、もっと調べよう」と投げかけてもらうとよい。</p>	<p>アニ×パラ視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験したパラスポーツ（または他のパラスポーツ）に興味をもつ。 ・パラスポーツのルールの概要や、障害があっても楽しむことができるための工夫を知る。 ・アニ×パラサイト等を訪問し、自分の調べたいパラスポーツを決める。 	<p>調べ学習／発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだパラスポーツについて、歴史、ルール、障害があっても楽しむことができるための工夫、日本代表チームの選手や活躍等について調べ、発表する。 ・自分が調べたパラスポーツに関連する障害について、生活上の困難や工夫について調べる。 など

■ 本時の流れ

	学習活動 ▶ 予想される児童・生徒の反応	□ 指導上の留意点
導入	<p>体験を振り返り、その他にどのようなパラスポーツがあるか、知っていることなどを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京 2020 パラリンピック競技大会では、テレビで〇〇のゲームを見たことがあるよ。 ▶ この競技は、もともになるスポーツが分からないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アニ×パラワークシート 02 〈パラスポーツ体験後〉を使用する。 □ 詳しく調べたいという気持ちを高められるよう、体験した競技を振り返りながら、その他の競技にはどのようなルールの工夫があるかなど問いかける。
展開	<p>アニ×パラのHPを知り、自分が興味をもったアニメやスペシャル動画を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ こんなにたくさんの競技があるんだな。 ▶ 東京 2020 パラリンピック競技大会では、この選手が活躍していたな。 	<ul style="list-style-type: none"> □ アニ×パラ HP の LINEUP (ラインナップ) を全体で確認し、その中から選ぶことができるようにする。 □ 個々に視聴する際は、イヤホンを用意するか、音量に配慮するよう伝える。
まとめ	<p>自分が調べる競技を1つ決め、発表までの見通しをもって調べ学習の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京2020パラリンピック競技大会の結果等を含め、新聞にまとめてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 導入で十分に競技が出なかった場合やなかなか決められない児童・生徒がいる場合には、日本パラリンピック委員会のHP等でパラリンピックの競技を確認する。

<これからパラスポーツ体験を準備される先生方へ>

- ☞ パラスポーツ体験を障害者スポーツ団体等の外部講師に依頼する際は、事前の学習の有無や、行う際の留意点（アニ×パラを事前に視聴しておいてよいか、ルールについて事前に学習するかどうか など）について、十分に打ち合わせを行っておく必要があります。
- ☞ 体験後に福祉の学習などを展開する場合は、当日の児童・生徒の質問を調整するだけでなく、講師として招聘する選手やスタッフの方等から、「体験をきっかけに、その他のパラスポーツについても調べてみよう」など、その後の活動につながる投げかけを依頼しておく、児童・生徒の学習への意欲が高まります。